

第20回 大学の研究者ショートプレゼン&交流会 ～KOBEOアカデミックトーク～

金融から読み解く、これからの日本経済 ー地域と世界をつなぐ金融の役割ー

10月22日(木) 18:30～20:00

開催概要

(一社) 大学都市神戸産官学プラットフォームでは、大学の最先端研究を地域の皆さまに身近に感じていただくための対話型イベント「KOBEOアカデミックトーク」を開催しています。

第20回 KOBEOアカデミックトークでは、神戸大学大学院経済学研究科の金京拓司先生と、神戸学院大学経営学部の石賀和義先生をお迎えします。金京先生には、「アジアのダイナミズムを神戸に取り込むためには？ー金融の視点から」と題し、アジアとの取引を取り巻く金融環境の変化を踏まえ、アジアの成長を神戸に取り込むために金融が果たす役割や、神戸港の機能強化の可能性についてお話しいただきます。また、石賀先生には「金融機関の企業支援」と題し、地域金融機関による効率的・効果的な企業支援の具体策と、持続可能な地域経済のあり方について、実務経験と最新の研究成果に基づきお話しいただきます。

金融は私たちの暮らしや地域、そして世界とどのようにつながっているのでしょうか。お二人の研究者による講演と対話を通じて、日本経済のこれからと地域の可能性について考えます。未来を形づくるヒントや新たな視点に出会える機会として、ぜひご参加ください。

【日時】

10月22日(木) 18:30～20:00
(受付18:00～)

【会場】

KOBE Co CREATION CENTER
神戸市中央区三宮町1-1-9 センタープラザ 9階

【対象】

テーマに関心のある企業・事業者・行政関係者、研究者、学生の皆さま

【定員】

30名程度 (事前申込制・先着順)

参加申し込みはこちら

SCAN ME!

※締切：10月20日(火)



プレゼンター



金京 拓司

TAKUJI KINKYO

神戸大学大学院経済学研究科
教授



石賀 和義

KAZUYOSHI ISHIGA

神戸学院大学経営学部
教授



安部 孝太郎

KOTARO ABE

(株) NTTドコモ
クロステック開発部 担当部長

ファシリテーター

金融から読み解く、これからの日本経済

ー地域と世界をつなぐ金融の役割ー



金京 拓司 神戸大学大学院経済学研究科 教授

TAKUJI KINKYŌ

京都大学経済学部卒業後、大蔵省（のちに財務省）に入省。同省では主に国際金融業務に従事し、財務省大臣官房信用機構課機構業務室長、国際局国際機構課企画官などを歴任。ロンドン大学にてPh.D.（経済学）を取得。2008年より神戸大学大学院経済学研究科教授、2024年より同研究科長・経済学部長を務める。専門は国際金融論で、通貨・金融市場の相互依存、金融システムと経済発展、アジアの金融統合について実証的に研究を行っている。趣味は軽音楽（ロック）のドラム演奏。

「アジアのダイナミズムを神戸に取り込むためには？ー金融の視点から」

世界経済におけるアジアの存在感が高まり、アジア域内の貿易関係も深まるなか、神戸港はアジア諸国・地域と強い結びつきを有しています。本講演では、アジアのダイナミズムを神戸の成長に取り込むために、金融がどのような役割を果たせるのかを考えます。具体的には、多様な取引通貨や為替・資本規制、国際決済の複雑化、地政学リスクなど、アジアとの取引を取り巻く金融環境の変化を踏まえ、企業の貿易を支える金融インフラの重要性を考察します。さらに、政府の重点分野である「港湾ロジスティックス」や官民連携による成長投資を活用した神戸港の機能強化の可能性を探ります。



石賀 和義 神戸学院大学経営学部 教授

KAZUYOSHI ISHIGA

日本銀行に33年間勤務。金融機関の監督業務や企業の信用力評価に従事した後、銀行や信用金庫に対する事業再生支援や人材紹介等の新規事業導入支援を担当。また、格付投資情報センターでの証券化業務をはじめ、預金保険機構および企業再生支援機構においては経営破綻した金融機関や企業の再生・処理業務に従事するなど、金融・企業再生分野において幅広い実務経験を有する。2022年より神戸学院大学経営学部教授。金融分野の講義を担当している。

「金融機関の企業支援」

現在、日本の中小企業は、度重なる経済危機やコロナ禍、激甚化する災害などにより、厳しい経営状況に直面している先が少なくありません。こうした企業に対し、銀行や信用金庫といった地域金融機関は、「事業性評価」に基づく収益強化支援、業務改善、IT活用支援などのコンサルティング業務を展開。これらの支援は、金融機関単独で行うのではなく、公的機関との密接な協力を得ながら進められているのが現状です。本講演では、地域金融機関による効率的・効果的な企業支援の具体策と、持続可能な地域経済のあり方を、実務経験と最新の研究成果に基づき紐解きます。



参加申込はこちらから

安部 孝太郎

KOTARO ABE

(株)NTTドコモ クロステック開発部 担当部長

2000年早稲田大学大学院理工学研究科経営システム工学修了。ドコモの法人部門、コンサル会社出向、R&D部門での新規事業開発経験を経て、2024年より現職。経営企画部兼務の傍ら、神戸市を中心として、各地方自治体の社会課題に適応した先進技術を実装する取り組みを推進中。

